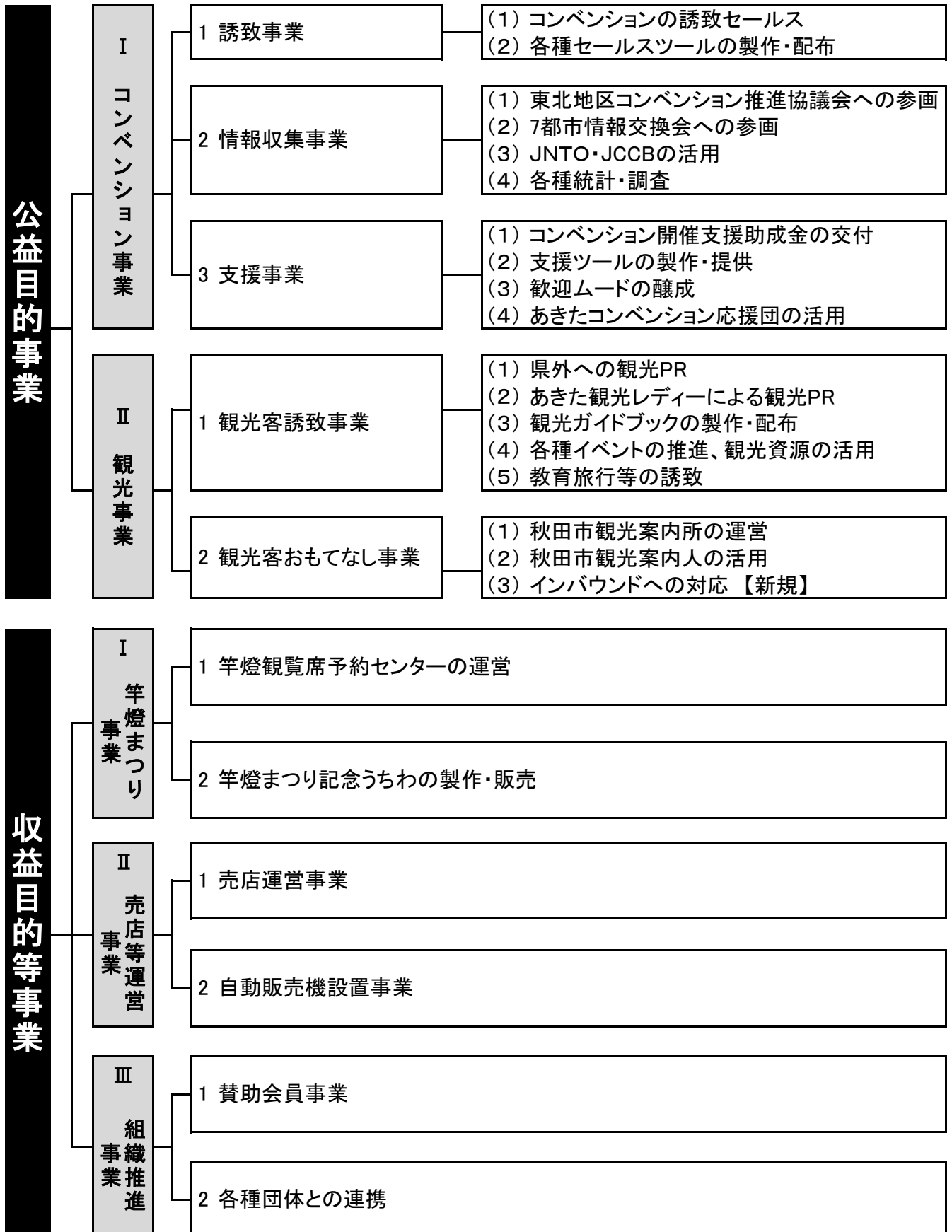


平成31年度事業計画

事業体系図



平成31年度事業計画

事業年度 平成31年4月1日～平成32年3月31日

事業計画作成にあたって

平成31年度事業計画を作成するにあたり、コンベンション事業においては、縣市連携文化施設が完成するまでの期間、大規模コンベンションの減少による影響を最小限に抑えるため、中・小規模コンベンションにもこれまで以上にセールスするほか、縣市連携文化施設の完成後を視野に入れた、幅広い誘致活動を展開してまいります。また、アトラクションやシャトルバスへの助成など、コンベンション支援制度をセールス用パンフレットやPRチラシなどで周知し、コンベンションが開催しやすい環境を整えることで、規模を問わず、開催件数の増加に努めてまいります。

観光事業においては、ユネスコ無形文化遺産登録された鹿角市の「花輪祭の屋台行事」、仙北市の「角館祭りのやま行事」、秋田市の「土崎神明社祭の曳山行事」の屋台3行事に加え、新たに登録された「男鹿のナマハゲ」など、県内の豊かな伝統芸能やグルメなどを一堂に集めた「これが秋田だ！食と芸能大祭典」を引き続き開催するほか、県外プロモーションも積極的に行って県内外からの誘客促進に結びつけます。また、クルーズ船や通年化するチャーター便などによって増加が見込まれるインバウンドへの対応については、秋田県や秋田市、秋田県観光連盟や商工会議所などの関係団体と連携し、お出迎え行事や、観光業従事者などを対象とした英会話セミナーを開催するなど、おもてなし体制の充実を図ります。さらに、まちあるき観光には音声翻訳機を導入して案内を行うほか、外国語版観光ガイドの配布なども引き続き行ってまいります。

教育旅行等誘致においては、アンケートやモニターツアーでの評価が高かった国際教養大学のイングリッシュヴィレッジを中心に、仙北市のわらび座や男鹿市、大館市と連携した秋田ならではのメニューを積極的にセールスし、首都圏、北海道からの教育旅行の誘致を図ってまいります。

また、組織推進事業では、賛助会員を増やすため会員勧誘の強化期間を設け、協会一丸となって勧誘活動を行うほか、収益事業においても、千秋公園売店の販売品目や営業内容の見直しを図ってまいります。

【公益目的事業】

I コンベンション事業

1 誘致事業

1,313千円

(1) コンベンションの誘致セールス

980千円

これまでのセールス活動において蓄積された情報をはじめ、情報収集事業において得た新たな情報をもとに、県内外のキーパーソンおよびコンベンション主催者に対し、積極的なセールス活動を実施し、開催件数の増加を目指す。

また、県民会館建て替えの影響による開催件数の減少を補うため、中・小規模コンベンション（100～300人程度）にこれまで以上に注力するとともに、新施設完成後を見据えた大規模コンベンションのセールスも引き続き実施する。

- ・地元セールス・・・随時
- ・首都圏セールス・・・年7回程度（目標60件）

<参考>

●平成30年度までのセールスで秋田開催が決定した主なコンベンション

平成31年	9月	日本機械学会2019年度年次大会	2,100人
平成31年	10月	第33回全国浄化槽技術研究集会	1,000人
平成32年	1月	平成31年度大学病院情報マネジメント部門連絡協議会	600人
平成32年	8月	砥粒加工学会 ABTEC	300人

●現在継続セールス中のコンベンション

コンベンションの分類	件数
医業	10
学術	17
教育	2
組合、業界団体など	17
福祉	2
合計	48

(2) 各種セールスツールの製作・配布

333千円

各種の支援制度をPRし、コンベンション誘致に結びつけるため、セールス用パンフレットやチラシ等を活用した周知を行う。また、開催地選定のための都市PRには、ノベルティグッズの効果も大きいことから、コンベンション誘致に結びつけられるよう素材やデザインなどを工夫したグッズを製作・配布する。

- ・ノベルティグッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～2種類の製作

(1) 東北地区コンベンション推進協議会への参画**397千円**

東北・新潟地区のコンベンション推進団体により結成される協議会へ参画し、他都市の誘致活動状況や東北規模のコンベンション情報を収集する。

また、同協議会会員都市が一丸となってコンベンションを誘致することを目的として開催する「東北地区MICE誘致懇談会」にも参画し、積極的なセールス活動を行う。

- ・定例総会 : 平成31年 8月 (山形市)
- ・実務職員研修会 : 平成31年10月 (会津若松市)
- ・MICE誘致懇談会 : 平成31年 9月 (東京都)

※会員都市 青森県：青森市、弘前市、八戸市
(17団体) 岩手県：盛岡市
山形県：山形市、庄内地区、米沢市
宮城県：仙台市、気仙沼市
福島県：郡山市、福島市、会津若松市
新潟県：新潟市、長岡市、上越市
秋田県：秋田市、横手市

(2) 7都市情報交換会への参画**754千円**

全国の地区(ブロック)から競合しない都市が集まる7都市情報交換会に参画し、各都市が持つコンベンションの有力情報を交換するとともに、各都市において開催済あるいは開催予定のコンベンション主催者を招待した「7都市情報懇談会」を開催し、お互いに紹介し合うことで、効率的な誘致活動に役立てる。

- ・7都市情報懇談会：平成32年1月23日 東京都
- ・7都市担当者会議：年5回(7月、10月、12月、1月、3月)

※加盟都市(旭川、秋田、前橋、岐阜、姫路、松山、鹿児島)

J N T O (日本政府観光局)

海外における観光宣伝、外国人に対する観光案内、国際会議の誘致・支援及びその他情報提供している。

J C C B (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)

日本全体のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している。

J N T O が発行するメールマガジンや海外向けガイドブックへ情報提供を行い、海外における観光宣伝および国際会議の誘致促進を図る。

また、J C C B に参画し、年2回開催されるコンベンションビューロー部会やコンベンション開催意向調査データを活用し、国際・国内コンベンションの誘致促進につながる有益な情報収集を図る。

- ・第1回コンベンションビューロー部会 : 平成31年 7月 (福島市)
- ・第2回コンベンションビューロー部会 : 平成32年 時期未定、(東京都)
- ・コンベンション開催意向調査データ : 約4,400件の主催者情報

(4) 各種統計・調査

秋田市内で開催される予定のコンベンション情報を調査し、受け入れ態勢の整備に役立つほか、コンベンションカレンダーやホームページにより広く情報提供する。

また、コンベンション開催の成果を可視化するため、経済波及効果の測定を専門機関へ委託する。

・コンベンション開催予定調査

大会規模	平成31年度	平成30年度
国際大会	2	2
全国大会	36	40
東北大会	42	42
合計	80	84

・経済波及効果

コンベンション主催者および参加者に対しアンケート調査を実施する。得られた情報を基にした経済波及効果の測定は(一財)秋田経済研究所へ委託する。

<参考>

平成30年度コンベンション開催による経済波及効果

約 12億円

県外参加者一人あたりの経済効果

- ・直接的経済効果 39,978円
- ・間接的経済効果 19,683円
- ・経済効果 59,662円

3 支援事業	17,324千円
---------------	-----------------

(1) コンベンション開催支援助成金交付事業	12,000千円
-------------------------------	-----------------

秋田市で開催されるコンベンション主催者に対し、開催費用の一部を助成し、コンベンションが円滑に開催できる環境を整えることで、コンベンション開催件数の増加に結びつける。

- ・主な交付条件：東北規模以上のコンベンションで県外参加者が100名以上
- ・助成金額：県外参加者1名につき1,000円
※2年以上前の申請で最大300,000円を加算する。
ただし、当協会が誘致したものに限る。

(2) 支援ツールの製作・提供	1,666千円
------------------------	----------------

平成30年度に製作したコンベンションバックを増刷し引き続き販売する。
また、コンベンション参加者がアフターコンベンションに活用できる観光ガイドブック等を無料提供し、利便性向上と地元や周辺地域への経済波及効果促進を図る。

- ・コンベンションバック増刷 10,000部
- ・観光ガイドブック配布予定数 100大会

(3) 歓迎ムードの醸成	3,259千円
---------------------	----------------

コンベンション主催者が秋田らしいアトラクションで参加者をお出迎えできるよう、伝統芸能出演料の助成やあきた観光レディーの無料派遣などを実施するほか、コンベンション開催を歓迎するポスターを製作し、賛助会員等の飲食店やお土産店、宿泊施設などに配付して一体感のある歓迎ムードの醸成を図る。

また、県民会館建て替えの影響による開催数の減少を抑えるため、郊外で開催するコンベンションに対し、シャトルバス運行等の費用を一部助成する。

- ・支援対象：国際規模50名以上、全国規模250名以上、東北大会400名以上
全国規模1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- ・支援内容：
 - 歓迎ポスター・・・・・・・・・・850枚製作し飲食店等へ配布
 - 伝統芸能出演料助成金・・・・出演料の1/2かつ上限50,000円を助成
 - あきた観光レディー・・・・2名まで無料派遣
 - シャトルバス等助成・・・・バス賃借料の1/2かつ上限200,000円

(4)あきたコンベンション応援団の活用

399千円

コンベンションの円滑な開催を支援するため、ボランティアスタッフ「あきたコンベンション応援団」を派遣し、秋田駅や秋田空港でのお出迎え案内や開催当日の会場案内などのサポートを行う。

- ・ 応援団登録者：27名（平成31年1月末現在）
- ・ 派遣対象：国際規模50名以上、全国規模250名以上、東北規模400名以上
全国規模1,000名以上のスポーツ大会（プロスポーツ除く）
- ・ 派遣人数：延べ10名まで無料で派遣

II 観光事業

1 観光客誘致事業

45,812千円

(1) 県外への観光PR

7,235千円

首都圏を始め、北海道や近隣県などで実施されるイベントへ参加し、市や県などと連携した観光PRを実施するほか、誘客ポスターの作成・掲出によって秋田への誘客を図る。

また、情報収集源の核となるホームページの充実やSNSの活用などにより、広く情報発信を行う。

・県外での主な観光PR行事

東北絆まつり

期日：平成31年6月1日（土）～2日（日）

場所：福島市内

ふるさと祭り東京

期日：平成32年1月

場所：東京ドーム

北前船寄港地フォーラム（年4回のうち2回参加）

期日：平成31年10月19日（土）～20日（日）

場所：北海道小樽市

期日：平成32年1月31日（金）～2月1日（土）

場所：鹿児島県鹿児島市

・誘客ポスターによるPR（秋田美人ポスター）

製作部数 約3,150枚（予定）

掲出場所 首都圏JR主要駅、市内観光施設、県内道の駅ほか

・ホームページの運用

アキタッチ+（プラス）と協会ホームページの適切な更新や、SNSの活用などにより、国内外に対して様々な観光情報の提供を行う。

またアキタッチ+（プラス）の表示速度をより早くすることで、快適な閲覧ができるようサーバーの強化を行う。

(2) あきた観光レディーによる観光PR

4,468千円

一般公募により選抜された6名へあきた観光レディーを委嘱し、東北絆まつりを始め、県内外で開催される各種観光イベントなどで秋田の観光PRを実施する。

あきた観光レディーの派遣にかかる手数料を近隣他団体の派遣手数料を参考に改定を行う。

<主な活動内容>

5月24日（金）～26日（日）これが秋田だ！食と芸能大祭典

6月 1日（土）～ 2日（日）東北絆まつり（福島市）

8月 3日（土）～ 6日（火）秋田竿燈まつり

※このほか、首都圏や県外で開催される観光イベントやチャーター便やクルーズ船のお出迎えなどに派遣予定

(3) 観光ガイドブックの製作・配布**6,090千円**

秋田市の観光と飲食に関する情報を掲載したガイドブックを製作し、各種施設やコンベンション参加者に配布するとともに、県内外での観光PRでも活用する。また観光と飲食の冊子を合冊することで、利便性向上を図る。

<製作部数>

観光・飲食冊子版（日本語）	40,000部
ダイジェスト版（日本語）	68,000部
外国語版【英語・韓国語・中国語（繁体・簡体）】	34,000部（11,500部増）

(4) 各種イベントの推進、観光資源の活用**16,969千円**

千秋公園桜まつりやこれが秋田だ！食と芸能大祭典等のイベントを開催するほか、秋田犬や秋田蕎麦などの観光資源を活用し、県内外からの誘客促進を図る。

- ・これが秋田だ！食と芸能大祭典の開催
 期日：平成31年5月24日（金）～26日（日）
 会場：アゴラ広場、エリアなかいち、広小路、仲小路、秋田駅西口など
- ・秋田犬ふれあい事業
 期間：平成31年5月11日（土）から10月末（予定）
- ・千秋公園桜・つつじまつり
 期間：桜まつり・・・平成31年4月中旬から下旬（予定）
 つつじまつり・・・平成31年5月中旬から下旬（予定）
- ・あきた蕎麦の栽培展示
 期間：平成31年5月～8月（生育状況により変動）
- ・横手かまくらの展示
 期間：平成32年2月頃（なかいちウインターパークの開催期間）

(5) 教育旅行等の誘致**11,000千円**

教育旅行等を誘致するため、県内市町村等との連携によって滞在型・体験型メニューの充実を図るとともに、教育関係者や旅行代理店へのセールスを強化する。

- ・体験型観光メニューの確立
 秋田市ならではの特色のある自主研修プランを確立する。
 ① 留学生と歩く ② 現役大学生と歩く ③ 観光案内人と歩く
- ・モニターツアーの実施
 旅行代理店や教育関係者等に体験型観光のモニターツアーを実施し、秋田市での宿泊コースのPRを図る。（年1回）7月、北海道内エージェント対象に実施
- ・旅行代理店・教育関係者等セールス
 首都圏、北海道、関西等 年10回程度
- ・訪日外国人教育旅行セールス（台湾からの誘客、国内での商談会）
 年2回程度
- ・ホームページ等の運用
 体験型観光のホームページの構築や周知用パンフレットの充実を図る。
- ・ワンストップサービスの確立
 教育旅行コーディネーター配置により、専門性のあるサービス機能確立する。

※平成31年度の誘致校 3校 小樽市立桜町中学校 70名（市内宿泊なし）
 小樽市立潮見台中学校 59名（市内宿泊あり）
 小樽市立松ヶ枝中学校 62名（ " ）

2 観光客おもてなし事業

17,264千円

(1) 秋田市観光案内所の運営

15,337千円

秋田市内や県内各地の観光情報をリアルタイムで収集し、利用者のニーズに沿った情報を提供するとともに、東北地区の観光案内所と連携し、広域的な観光案内を実施する。

また、市内観光の選択肢を増やすため、レンタサイクルの貸出を実施する。

- ・職員数：5名（秋田空港案内所へ週1日職員1名を派遣）
- ・開所時間：9時～19時（11月～3月は18時まで）
- ・レンタサイクル：11台所有

(2) 秋田市観光案内人の活用

1,427千円

秋田市内の名所や旧跡、歴史や郷土芸能等を案内するボランティア「秋田市観光案内人」を育成し、まちあるき観光やクルーズ船寄港時の観光案内に活用する。

- ・秋田市観光案内人の育成
登録者：25名（平成31年1月末現在）
- ・まちあるき観光案内所
4月中旬から12月中旬までの土日祝日や竿燈まつり期間、大型コンベンション開催時などに中心市街地の「エリアなかいち」に設置する。

(3) インバウンドへの対応

500千円

年々増加傾向にあるインバウンドに対応するため、観光事業者を対象としたおもてなし研修を開催するほか、竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置、クルーズ船・チャーター便歓迎セレモニーへのあきた観光レディー派遣など、受入体制の充実を図る。

また、新たに音声翻訳機を導入し、秋田市観光案内人による観光案内等に活用する。

- ・音声翻訳機の導入 **【新規】**
- ・インバウンドを想定したキャッシュレス対応 **【新規】**
- ・おもてなし研修の開催
内容：おもてなし研修（10月～2月開催予定）
対象者：接客業、飲食店、運輸業などの観光事業の従事者
- ・竿燈まつり期間中の外国語対応ブースの設置
- ・チャーター便、クルーズ船来航時のあきた観光レディーによるお出迎え
- ・外国語版観光ガイドブックの製作、配付（英語、韓国語、中国繁体字・簡体字）
- ・外国語版ホームページの開設（英語、韓国語、中国繁体字・簡体字、タイ語）

【収益目的等事業】

I 竿燈まつり事業

1 竿燈観覧席予約センターの運営	2,065千円
-------------------------	----------------

竿燈まつり実行委員会の委託を受けて、竿燈観覧席予約センターの運営を行う。

団体予約開始：4月10日（水）10：00から

個人販売開始：5月7日（火）10：00から

2 竿燈まつり記念うちわの製作・販売	562千円
---------------------------	--------------

「竿燈まつり記念うちわ」を製作し販売する。

製作本数：18,000本

販売価格：1本150円

II 売店等運営事業

1 売店運営事業	10,398千円
-----------------	-----------------

・千秋公園売店運営

当協会の財政健全化に結びつく主力事業と位置付け、人気商品であるソフトクリームに新たな限定商品を販売するほか、桜まつりやつつじまつりの開催に合わせた生ビールの販売、秋田犬や竿燈まつりなどオリジナルグッズの販売などにより収益アップを図る。

営業期間：4月中旬から11月中旬

主な取り組み：桜まつり、つつじまつりに合わせたアルコール類の販売

千秋公園限定新ソフトクリームの開発・販売

秋田犬、竿燈まつり等オリジナルグッズの販売

インバウンドを想定したキャッシュレス対応【再掲】

季節にあった商品の販売など

・県立中央公園スポーツゾーン売店運営

営業日：5月から9月のイベント開催時のみ

※経営を地元の賛助会員へ委託予定

2 自動販売機設置事業	1,407千円
--------------------	----------------

設置箇所：千秋公園、八橋運動公園、スポーツパークかわべ、へそ公園、秋田県立中央公園、ふるさと温泉ユアシス、高尾山（計36台）

Ⅲ 組織推進事業

1 賛助会員事業	751千円
-----------------	--------------

- ・ 賛助会員交流会の開催

賛助会員が一同に会する場を提供し、相互の情報交換や親睦を深めることで一体感のある組織づくりを目指す。

開催時期：平成32年3月

会 場：未定

- ・ 賛助会員勧誘の強化

春（4～6月）と秋（10～11月）に賛助会員勧誘強化月間を設け、協会一丸となって賛助会員勧誘を強化する。

目 標：新規加入 20件

2 各種団体との連携	712千円
-------------------	--------------

県や市、各種団体との連携会議等に積極的に参画し、情報交換や人的交流を図ることで、賛助会員へ提供する最新情報の収集や、円滑な事業実施に結びつける。